

ほくよう 道徳だより

北陽小学校

2016. 12. 15

2学期号

近年の情報化やIT化に伴って、10年後20年後には、現在ある職業の半分がなくなるであろうと予測されています。将来、子どもたちが仕事に就き、幸せな生活を送るためには高い学力だけでなく、自分で考えて判断し、予測不可能なことにも対応できる力を育てることが重要だと言われています。道徳の時間には、資料の中の登場人物の心情に寄り添うことで道徳的な価値を学びます。振り返りでは自分の生活に置き換えることで、自分を見つめる時間をもっています。子どもたちの振り返りをぜひ、ご一読ください。

一年生

2-（3）友情

「二わのとり」

みそざいは、うぐいすの家で

どんなことを考えていたのかな

・みそざいは、やまがらさんのがみのことをおもいだして、うぐいすの家でたのしくうたえなくて、さみしそうだなとおもいました。

・みそざいさんは、やまがらさんがきになって、うぐいすさんの家でうたをうたついてもげんきがでませんでした。

・ともだちのきもちをかんがえれば、なかよくなれるんだとわかりました。

・やまがらさんの家に、いけばよかったです。いま、さみしがってるだろうな。ともだちのきもちをかんがえていったら、もつとよるこぶかも。



二年生

1-（2）勤勉努力

「小さな力をつみかさね」

—二宮金次郎—

あきらめない心について考えよう

・きんじろうさんへ

まんべんおじさんがおこったからといって、ゆめをあきらめていいのかな。おこられてもあきらめたらだめだよ。あきらめたら、そこで終わりだよ。

・わたしが学んだことは、少しずつみかさねていたら、大きなことにつながるということです。それが大切なことだとわかりました。

・わたしは、かん字テストで百点を取れなかったときにくやしい思いをしました。次は百点をとるという強い気持ちで、すきま時間にノートにれんしゅうをしました。すると、百点がとれました。あきらめない心って大切だと思いました。

・きんじろうさんのいつでもがんばってあきらめないとこをまねしたいです。そうしたらぼくのゆめの、サッカーせん手になれるかもしれないです。

三年生

1-（2）勤勉努力

「医学の道に進みたい」

—野口 英世—

今までに努力して

できるようになったことは？

・わたしがさか上がりができないときに、お母さんに公園で教えてもらっていると、いきなりできるようになったので自分がんばったなあと思いました。

・わたしはうん動がいが手です。二年生のとき、なわとびの二回せんとびができませんでした。でも、みんなにたすけられて、一度だけとぶことができました。一度だけだったけどとてもうれしかったです。

・わたしが自転車に乗れない時、家族が手伝ってくれてすぐあたたかい気持ちになりました。わたしもお母さんになったら、あたたかく教えてあげたいです。



四年生

1—(4)

正直誠実・明朗

「新次のしよぎ」

うそをついて

正直に行できなかったことはあるかな



・私は漢字検定の勉強をしていて、お母さんに「やりなさい」と言われて、私は「やるから」と口だけうそをついていました。それで試験のときまったくわからなく後かいました。

・宿題をするとき、お母さんがいないとたまに答えを見てやってしまいます。これから答えを見てズルするのはやめようと思いました。

・お父さんとオセロをして負けていたから、お父さんが電話をしているときに、黒を白に変えてしまった。それでも結局負けてしまったので、どうせ負けるのならズルをしなきゃよかったと思っただ。

・児童館でドッジボールをしていて、ほかの人の顔にボールがあたってしまった。その人はすぐにおむかえが来たので、ごめんなさいも言えなかったのであんなことをしなければよかったと後かいました。

・本当はほかの友達と遊ぶ約束をしていたのに、あとからべつの友達と遊ぶ約束をしてしまった。それで初めに約束していた友達とは遊べなかった。悪いなと思ったので、次の日に学校であやまった。

五年生

1—(6) 個性伸長

「百六十センチのスーパースター」

ロベルト・カルロス

長所について考えよう

・この前、友達にやさしいねと言われて、もっとみんなに親切にできる人になりたいと思って、困った人がいると助けるようにしています。私は英語を習っていて、発音でよく注意をされます。でも、将来、外国人とたくさん話したいので、これから一生けん命がんばりたいです。

・ぼくが取り組んでいることは、算数の成績を上げることです。なぜかという、算数は大人になっても使えるからです。

・私は、バスケットをしています。ロベルト・カルロスさんと同じで、私は背が低く6年生と一対一をしたときは、つきとばされてしまいます。でも、今日の話を聞いて、自分だけのプレイを見つけたら、他の人よりもつといいプレイになると思うので長所を伸ばしていきたいです。

・私もロベルト・カルロスさんのように、よいところを伸ばそうとして取り組んだことは、バトンでとれるまで何回もなげて、大きな技やとても難しい技をしつかりとれるようにまわりの人といきを合わせたり、仲間やコーチに見てもらったりしてアドバイスをもらいます。



六年生

4—(6) 愛校心

「イチヨウ祭り」

学校の一員としてできることは？

・みんながずっと使っていく学校なので、ずっときれいであってほしいからそうじをがんばろうと思います。

・あいさつを6年生が積極的になってやっていけば、これからも伝統として伝わっていくと思う。・あいさつでしつかり声を出すことで、それを見ている下級生があいさつができるようになると思う。

・これまでに学校のためにしてきたことはそうじです。前までは、そうじをきとうにしていたけど、イチヨウ祭りを勉強して、卒業するまでに、しつかりそうじをしようと思いました。

・去年、運営員会で全校のみんなが笑顔になるようにいろいろなイベントを考えて楽しんでもらえるようにしていました。

・今は保健委員なので、北陽小のみんなが健康でいられるようにがんばります。

